

## 〈ミニコラム〉

### “ワクチン敗戦” 下の “ワクチン狂騒曲” の開演をどう考える？

1) ワクチン接種率No. 1の国はイスラエル。ガザ地区を巡るパレスチナとの軍事衝突は大変だが、すでにコロナには勝利した。コロナの爆発的拡大の中で“ロックダウン”を繰り返した西欧諸国も、感染者数世界一になった米国も、ワクチン接種が進む中で日常生活を取戻しつつあり、“集団免疫”獲得の日も近い。トランプ前大統領から“武漢ウイルス”と罵倒された中国は中国共産党独自の手法でコロナを克服し、今や“ワクチン外交”を展開中。それに対し、日本の接種率は2%で世界ワースト、断トツのビリ、だ。

2) 日本はGDPでは中国に追い越されたし、ジェンダーギャップ指数では120位の後進国だが、G7（主要先進7か国会議）のリーダー的立場ではなかったの？米国は既にワクチンが余ってきたのに、なぜ同盟国・日本にワクチンが少ないの？河野太郎新型コロナウイルスワクチン接種推進担当大臣はファイザー製ワクチンの（量的）確保はできたと胸を張ったが、いつまでに接種できるの？かつて安倍総理は、国産の抗インフルエンザ薬「アビガン」が新型コロナウイルスにも有効だと胸を張り、昨年5月中の「承認」を目指すと表明したが、国産ワクチンはどうなっているの？

日本は1945年8/15の敗戦後、一貫して平和と安全そして経済成長を誇ってきたが、今や“ワクチン敗戦”は明らかだ。5/18付朝日新聞は、「国産ワクチン治験アジアと共同方針」と報じたが、何を今さら！

3) ワクチン接種の優先順位は①医療従事者、②65歳以上の高齢者、③基礎疾患を有する者・高齢者施設等の従事者、④それ以外。コロナ解決の“切り札”がワクチンだということは、昨年4/7に最初の緊急事態宣言を発出した時点で周知の事実。それから1年。医療従事者への接種も完了しないまま、高齢者に対して、④4/12から

は国が支給するファイザー製ワクチンを自治体毎に接種、㊸5/17からは自衛隊による東京・大阪の大規模会場での接種予約、が始まった。ワクチン接種の遅れが政権の危機・崩壊に直結すると危惧した菅首相は1日100万回の接種という大号令も発したが・・・。

- 4) ㊸の自治体毎の接種は、夜中から並んだ、ネット予約が困難等の不満や、余ったワクチンを首長が勝手に接種、スギ薬局の社長への予約枠の優先確保、等の問題点（突破り？）が噴出！日本列島は、自粛要請破りの会食者探しの他、速さと公平さのどちらを優先させるの？、等のバカげた議論がさまざまな“識者”を交えて花盛りになった。他方、㊸の方は、「苦しい時の自衛隊頼み」に野党が文句を言わないのはなぜ？という論点はともかく、東京は5万人の予約枠に4.4万人だったが、大阪では26分間で2万5千人の予約枠が終了した。大阪人特有の“いらち”はここでも顕著だ。
- 5) ベテラン事務員のパソコン能力のおかげで、私は5/24の予約にギリギリ成功したが、こんなことで一喜一憂すること自体がナンセンス！“ワクチン狂騒曲”が開演した今、私は“冷ややか”な気持ちで今後の“バカバカしい展開”を見守りながら“みじめな結末”にならないことを願っている。

2021年5月25日記